

足利風 -ashikaga-fu

2020
12月号
Vol.71



絵手紙：齋藤 博

足利市民活動センター

開館時間：平日 10:00~19:00
休館日：土・日・祝日・第3月曜日

〒326-0052

栃木県足利市相生町1-1
足利市生涯学習センター3F

TEL 0284 (44) 7311

FAX 0284 (44) 7312

Mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- * 特集!
- * TOPICS
- * 私のボランティアことはじめ
- * サークル紹介
- * インフォメーション

* 「ボランティア」と「チャリティ」 *

“足利だって海がある”という、在野のボランティア団体・サークルをネットワークし、市民ひとり一人の心に灯をつけるイベントが以前あった。この街に暮らすひとり一人が、自分の手の届くところから自分の街として考える“ディスカバー足利”であり、市民主導型の街づくりをめざす。その根底には、外に向かって開かれた“内発的発展”と、ワクワク・ドキドキの学びと遊び心がたっぷりと含まれていた。多様多彩な仕掛けの核には、



この町が“癒しと祭りの場”となり、やがてのことに、田中正造の言う“人道の稽古場”となれば、どんなにかス・テ・キなことだろうという夢があった。映画上映・コンサート・シンポジウム・郷土物産展などなどの自主企画・・・映画は「山谷（やま）～やられたらやりかえせ」。明日のジョーを生んだ山谷という季節労働者の暮らすマチでの、暴力団と労働者を守るボランタリーな人々との抗争のドキュメンタリー。

映画を中途まで手掛けた佐藤監督は凶刃に倒れ、その後を引き継いだ山岡さんも完成後、凶弾に倒れた。私は二人を知っていたし、ドキュメンタリー映画を撮る厳しさも知っている、だから、現在それに挑戦している足利出身の想田和弘監督には志を遂げてほしいと思っている。

キリスト教では“自分にしてほしいと思うことを他者にもせよ”という呼びかけに応答する愛の行ないが“チャリティ”の原型。ヒンズー教・イスラム教などにも援助の思想はあるが、日本では仏教の伝来とともに行ないとしての援助すなわち“チャリティ”は、聖徳太子が建立したと言われる四天王寺の四箇院などにその具体的な始まりを見ることが出来る。しかし、“チャリティ”の本質は、他者への奉仕や援助の面よりも、自らに課した“使命”や“行”が大切とされた。他者と共に生き・死ぬということ。コロナ後の社会のキーワード“利他”ということをもそれぞれの心に問う時代に入った、と思う。

(M生)

* 山頭火の花しぐれ *

9月5日(土)午後、市民活動センターの茶論「山頭火」は、数多くの山頭火ファンの熱気あふれる場となった。“うしろ姿のしぐれてゆくか”“分け入っても分け入っても青い山”・・・などの名句の解釈や質疑応答などの後で、足利では初めての、山頭火の敬愛する、伊那の“井月(せいげつ)”“ゆかりの資料や”山頭火と井月のかかわり”の話で大盛り上がりとなった。放浪行乞の漂泊の俳人・山頭火の魅力は現代でも尚、人々の魂を引き付けていることが感じられた茶論となった。続編への期待を込めつつ散会となった。

＊今、ボランティアを思う＊

NPO法人しえば理事長 富樫透

生き生きとして活動する青年達との出会いは平成元年だった。日本青年奉仕協会の「ボランティア365」のプログラムは昭和54年から31年にわたり延べ全国240カ所に1300名の若者が教育、福祉、医療、地域振興、環境、自然などの分野で、1年間ボランティア活動を通じ、社会との関わり、課題解決にむけた実践、同期や地域とのネットワークの構築などが図られたように思います。また、自分が希望する分野での活動ができ、先進的な組織や団体での実践は個々のスキルアップは勿論、若者達にとってかけがえのない財産になったような気がします。



阪神・淡路大震災では「ボランティア元年」といわれ137万人ものボランティアが活動し「共助」という考え方と「窓口の一元化」が課題となりました。その後NPO法が成立し、市民の社会参画と課題解決の仕組みがプラットフォームを通じ加速化できるようになりました。一方、東日本大震災では196の災害ボランティアセンターが設置され、550万人ものボランティアが復興に向け活動しましたがコーディネーター不足の課題も出されました。その後の熊本地震や豪雨災害ではNPOとボランティア、自治体との連携がなども話題となりました。

そして、今回のコロナウイルス感染症の蔓延です。マスクの寄付やこども食堂、医療関係者への差し入れ、フライディオベーションなどいくつかの活動が話題になっていますが、「相互扶助」という原点に立ちかえりながらも、正しい情報共有と感染症撲滅という目標にむけてボランティアも統一の活動が必要と考えます。そしてその中心には、「ボランティア365」のようなボランティアな若者達をインキュベイトする組織が不可欠です。微力ながらチャイルドライン、子供図書館、こども食堂などの活動を通じ、それぞれの課題解決や持続可能な社会創造のために仲間とともに歩み続けたいと思うこの頃です。

＊色鉛筆画好彩会です＊

足利市の色鉛筆画研修会卒業生の有志によって2009年4月に発足しました。本田先生にご指導いただきながら、足利市研修センターで、第2・4月曜午前10時～12時活動しています。通常の色鉛筆による描写学習の他、絵画鑑賞会、写生会、年1回の作品展及び親睦会等を行っています。近年、絵を描くことは脳の活性化にも役立つと評価され、手軽に始められる色鉛筆画は熟年者にも人気があるといわれています。色鉛筆画に興味のある方、また初心者の方のご入会も歓迎しています。 現会員14名

問合せ：小和田浩（090-3243-1902）

① インフォメーション ①

MERRY CHRISTMAS & A HAPPY NEW YEAR!

本年は、旧センター（大橋町）から新センター（相生町）への移転、また、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的疫病流行）の影響など波乱万丈の歳月でしたが、みなさまの多大なるご支援・ご協力によりまして、今日まで、つつがなく運営をすることができました。心より感謝申し上げます。来たる新年2021年は、それぞれの分野におきまして、未曾有の変化が起きることが予測されておりますが、ボランティア・NPO活動の原点である“自発性”“利他心”を念頭におきながら、“協働”の実をあげるべく努力して参る所存ですので、皆さまの尚一層のご理解・ご鞭撻をお願い申し上げます。

足利市民活動センター長 鈴木光尚（NPO法人足利の風理事長）

☆年末年始休館日のお知らせ

12月29日～1月3日は休館日となります（12月28日は17時まで）

☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

★12月11日（金） 14:00～16:00

* 本：「塩狩峠」（三浦綾子）

*案内人：阿由葉 栄二さん

★1月15日（金） 14:00～16:00

* 本：「天災と日本人」（寺田寅彦）

*案内人：川田 秀幸さん

■会場：足利市民活動センター

■参加費：無料

■お問い合わせ・事務局：足利市民活動センター ☎44-7311

☆企画展(交流コーナー) ～12月・1月のご案内～

(土・日・祭日・12/21は休館日)

- * 11月30日（月）～12月10日（木） 伝えたい足利の職人技展
- * 12月14日（月）～12月24日（木） 映像クラブ 作品展
- * 1月 4日（月）～ 1月14日（木） 新春 能面展
- * 1月19日（火）～ 1月28日（木） 創作人形 展

☆相談室&講座のご案内 ※詳しくは、別紙参照

* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 14:00～16:00

* 講座 = 毎月1回

編集後記

今年も残りわずかとなりました。年内は暗いニュースが多く、イベントなどの行事も中止や延期。どことなく気の重い1年でした。年明けは明るいニュースから知りたいですね。来年は皆様にとって良い1年になりますように。

(すずうさぎ)